

デジタルものづくり研究会

支援先

県内製造企業等

【目的】

大企業ではコンピュータ上で構造や強度の評価を行う 3 次元設計データを活用したものづくりが一般的になってきており、中小企業においても、3 次元 CAD データを活用した付加価値の高いものづくりが求められています。そこで本研究会では、高付加価値ものづくりのための人材育成や、手仕事の技術をデジタル化して生産性を向上できるような技術支援を行っています。

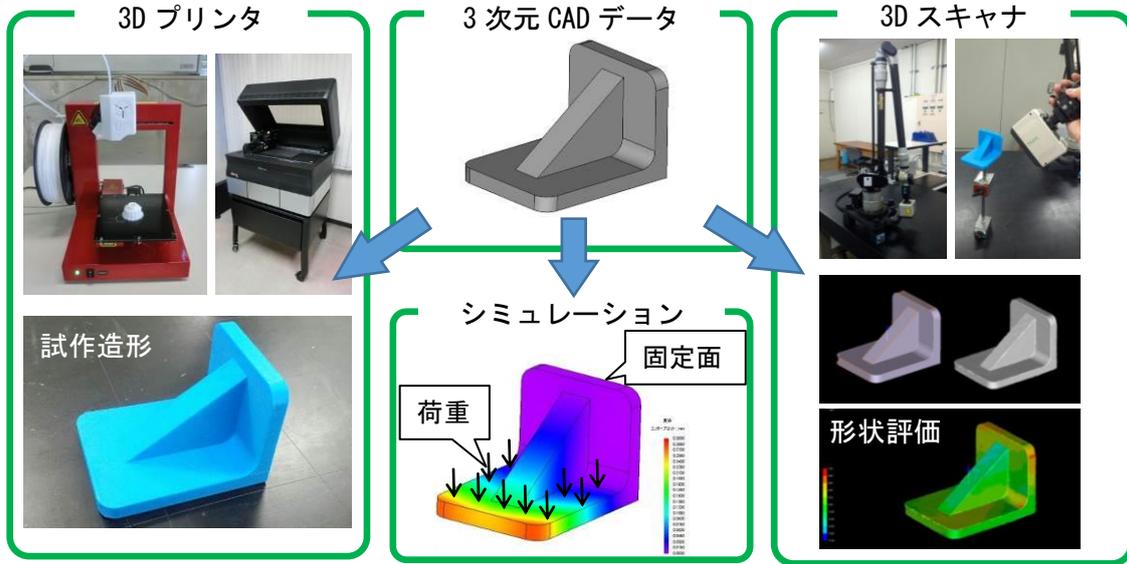


図 1 デジタルデータの活用例

【内容】

- 第 1 回 6 月 8 日「次世代 3DCAD と 3D プリンタの紹介セミナー」
新しい 3DCAD と 3D プリンタの活用事例等の紹介
講師：株式会社オートデスク，株式会社ブレイン，株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン
参加者：15 社 20 名
- 第 2 回 8 月 25 日「次世代 3DCAD 導入セミナー」
新しい 3DCAD の導入から簡単な使い方までのセミナー
講師：株式会社オートデスク 参加者：16 社 23 名
- 第 3 回 12 月 22 日「オープン CAE を用いた流体解析「Open FORM」活用セミナー」
3DCAD で作成したデータの活用方法の 1 つとしての、無料の流体解析ツール「Open FORM」の一連の使い方、機能に関するセミナー
講師：解析ツール「Tree FOAM」開発者 藤井 成樹氏 参加者：5 社 7 名



図 2 講演の様子（第 1 回，第 2 回，第 3 回）

基礎となった事業

平成 29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

技術融合部門

部門長

大高 理秀

TEL：029-293-7482

主任研究員

青木 邦知

主任

岡田 真

技師

前島 崇宏